

1. 物質または混合物および会社情報

1.1 製品特定名

スペシャルセメントブルー

製品番号：506 0160, 506 0351, 506 0352, 506 4357, 510 1155, 510 1165, 510 1832, 510 1833, 510 1848,
510 1849, 510 3256, 510 3304, 510 3407, 510 3438, 510 3500, 510 3517, 510 3603, 510 3610,
510 3710, 510 1150, 514 1591, 514 3113, 514 4740, 515 9152, 515 9303, 515 9327, 515 9328,
515 9329, 515 9334, 515 9335, 515 9336, 515 9337, 515 9341, 515 9342, 515 9358, 515 9359,
515 9365, 515 9388, 515 9389, 515 9396, 515 9397, 515 9406, 515 9407, 516 9025, 516 9033,
516 9040, 516 9087

1.2. 使用用途

自然加硫用加硫剤

1.3. 供給者詳細

会社名：REMA TIP TOP AG

住所：Gruber Strasse 65, D-85586 Poing, Germany

電話番号：+49 (0) 8121/707 - 100

安全データシートに関する担当連絡先：sds@gbk-ingelheim.de

1.4. 緊急連絡先 +49 (0) 6132- 84463, GBK GmbH (24h - 7d/w - 365da/a)

England and Wales : NHS Direct - 0845 4647; Scotland : NHS 24 - 08454 24 24 24

1.5. 販売元

会社名：株式会社チップトップジャパン

住所：愛知県名古屋市西区上小田井2-338

電話番号：052-502-3500

FAX番号：052-502-3620

2. 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

規則 (EC) No.1272/2008

危険有害性区分

引火性液体：Flam. Liq.2

重篤な眼の損傷 / 眼刺激：Eye Irrit.2

特定標的臓器・全身毒性 - 単回ばく露：STOT SE3

水生環境有害性：慢性水生毒性2

危険有害性情報

引火性の高い液体 / 蒸気

強い眼刺激を生じる

嗜眠やめまいのおそれ

長期的影響により水生生物に毒性

2.2. ラベル要素

規則 (EC) No.1272/2008

ラベル表示されている危険有害成分

酢酸エチル、炭化水素、C6-C7、n-アルカン、イソアルカン、環状化合物、<3% nヘキサン

注意喚起語 : 危険

ピクトグラム :



危険有害性情報

H225	引火性の高い液体および蒸気
H319	強い眼刺激を生じる
H336	嗜眠やめまいのおそれ
H411	長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

P102	子供の手の届かないところに置く事。
P101	医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていく事。
P210	熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける事。 — 禁煙
P260	粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない事。
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用する事。
P303+P361+P353	皮膚(または髪)に付着した場合 : 汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗う事。
P305+P351+P338	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗う事。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す事。その後も洗浄を続ける事。
P312	気分が悪い時は、医師に連絡する。
P273	環境への放出を避ける事。
P501	内容物/容器を各地方自治体の規則に廃棄する事。

標識特定混合物

EUH066	繰返しのばく露が皮膚の乾燥、又はひび割れを引き起こすおそれがある。
--------	-----------------------------------

2.3. その他の危険有害性

気体が空気と合わさり爆発性混合物を生じるおそれがある。

3. 組成及び成分情報

3.1. 混合物

化学的特性評価

酢酸エチルとの調製品

有害成分

CAS No.	EC No.	成分名称	分類	質量
REACH No.				
141-78-6	205-500-4	酢酸エチル	引火性液体-2、眼刺激-2、単回暴露-3 H225、H319、EUH066	<65%
01-2119475103-46				
92062-15-2	926-605-8	炭化水素、C6-C7、直鎖アルカン、 イソアルカン、環状化合物 <3% n-ヘキサン[ソルベントナフサ(石油)]	引火性液体-2、単回暴露-3、吸引性呼吸器有害性-1 慢性水生毒性-2 H225、H336、H304、H411	<25%
01-2119486291-36				
14634-93-6	238-677-1	N-エチル-N-フェニルジチオカルバミン酸亜鉛	眼刺激-2、慢性水生毒性-4 H319、H413	<5%
5459-93-8	226-733-8	N-エチルシクロヘキシルアミン	引火液体-3、急性毒性-3、急性毒性-4、皮膚腐食性-1B 慢性水生毒性-3 H226、H311、H302、H332、H314、H412	<1%
01-2119949285-29				
1314-13-2	215-222-5	酸化亜鉛	急性水生毒性-1、慢性水生毒性-1 H400、H410	<1%
01-2119463881-32				

※ハザードフレーズ及び EUH フレーズに関してはセクション 16 を参照。

その他の情報

規則 (EC) No.1272/2008 によると、ガソリン基材(欧州既存商業化学物質リスト; EINECS No.200-753-7)は重量の 0.1%以下の為、ソルベントナフサ(石油)は、発癌性や突然変異原の成分として分類されない。

4. 応急措置

4.1. 応急措置について

一般情報

本製品が付着した衣類はすぐに取り除く事。

本製品を使用する事によって気分がすぐれないようであれば、危険な場所から離れ休息を取り、医師の診断を受ける。

吸入した場合

気体や分解生成物を誤って吸入した場合は、新鮮な空気のある場所へ移動する。

何か症状が出た場合は、医学的処置を参考にする事。

皮膚に接触した場合

石鹼と大量の水で洗い流す。

もし皮膚への刺激が続くようであれば、医師に相談する事。

眼に入った場

直ちに大量の水で瞼の内側も含め少なくとも 15 分ほどかけて洗い流す。

眼の専門医師の診断を受ける。

誤飲した場合

- 無理に吐かせない。
- すぐに医師に診せる事。
- 吐かせる場合は医師の指示のみに従って、吐かせる事。

4.2. 急性もしくは後発性に出る重大な症状等

- 眼に対する重篤な損傷の危険
- 注意 呼吸の危険、気をつける事。
- 反復曝露が皮膚の乾燥やひび割れを引き起こすおそれがある。

4.3. 緊急の治療や特別な措置が必要とされる指示

- 症状に応じた医療措置を行う事。

5. 火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤

- 消火用フォーム、二酸化炭素(CO₂)、粉末薬品、ウォータースプレー

安全上の理由による不適切な消火剤

- ウォータージェット

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険有害性

- 火災により、一酸化炭素、二酸化炭素が発生する可能性がある。

5.3 消防士への助言

- 消火活動時は火災用保護服を着用し、自給式呼吸器具を装着する事。

その他注意事項

- 気体は空気より重く、地面に拡がる。
- 空の容器や汚れた容器も、気体や空気等の混合物は爆発性がある。
- 危険な状態の場合にはウォータースプレージェットで容器を冷やす。
- 火災の残留物や消火活動による汚染された水は、地方条例に従い処分する事。

6. 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 蒸気形成の場合、呼吸用マスクを使用する事。
- 防爆装置を使用する事。
- 換気装置を確かにする事。
- 防護服を使用する事。
- 着火の元となるようなものから遠ざける。

6.2. 環境に対する注意事項

- 下水管、地表水、地下水、土壤に流してはいけない。

6.3. 洗浄に関する方法と材料

- 不活性で吸収できるもの(砂、シリカゲル、酸性結合剤、一般的な結合剤等)で吸収する事。

処分用に適した容器に入れる。

6.4. 他のセクションを参照

セクション 7、8 を参照。

処分に関する情報はセクション 13 を参照。

7. 取り扱い及び保管上の注意

7.1. 安全に取扱う為の注意事項

安全な取扱の為の助言

容器はしっかりと閉める事。

蒸気は空気より重く、地面に拡がる。

職場に換気装置をおき、風通しをよくする事。

皮膚や眼、衣類等に本製品の内容物が触れないようにする。

火災や爆発防止を防ぐ為の助言

熱や着火原因となるものから離す。

喫煙禁止

静電放電に対する予防策を取る。

防爆装置を使う事。

7.2. あらゆる配合禁忌を含む安全な保管条件

保管場所や保管容器の必要条件

容器をしっかりと閉め、十分に換気された冷暗場所に保管する。

防爆ルールに注意を払う事。

適正な保管の助言

不適合性なもの；

酸化剤、亜硝酸、ニトロソ化剤等。

その他の保管条件

飲食物、動物用飼料と一緒に保管しない。

7.3. 本製品の使用用途

接着剤

8. 暴露防止及び保護措置

8.1. 制御パラメーター

暴露限界 (EH40)

CAS No	物質	ppm	mg/m3	Fibers/ml		職場暴露限界
141-78-6	酢酸エチル	200			時間加重平均 TWA(8H)	WEL
		400			短時間暴露許容濃度 STEL(15min)	

8.2. 暴露の管理

適切な設備での管理

特に密閉された場所では、十分な換気を確保する。

保護と衛生基準

- 蒸気を吸い込まない。
- 休憩前や、本製品を取り扱った後はただちに手を洗う事。
- 本製品の使用中に、飲食や喫煙をしない事。
- 使用後にスキนครリームを使う事。
- 衣類を再利用する場合は、付着した本製品を取り除く事。

眼/顔の保護

- サイズの合うゴーグルをしっかりと着用する事。(EN166)
- きれいな水で眼を洗い流す。(EN15154)

手の保護

- はね防止；
- 0.6mm以上の厚みで、約 10 分の透過抵抗があり、化学物質に耐性のある天然ゴムラテックス製の防護手袋。
- 0.7mm以上の厚みで、60 分以上の透過抵抗があり 化学物質に耐性のあるブチル製のゴムの防護手袋。
- この推奨は、研究所のコンディションの下、EN374 に即して実験された化学的適合性とラボテストを参考にしたものである。
- 条件は使用状況によって変化する。それゆえ保護手袋のメーカーによってさらなる推奨を固持する必要がある。

皮膚の保護

- 耐溶剤のエプロン(EN467)

呼吸器の保護

- 換気不十分な場合、適切な呼吸装置をつける事。(EN14387)

9. 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理学及び化学的特性に関する情報

- 物理的状态 : 液体
- 色 : 青
- 臭い : エステルのような臭い

物理的状态の変化

- 初留点と沸点範囲 : <35°C
- 引火点 : -20°C DIN EN ISO 3679
- 爆発下限界濃度 : 2.1 vol. %
- 爆発上限界濃度 : 11.5 vol. %
- 発火温度 : 460°C
- 蒸気圧(20°C) : 100hPa
- 比重(20°C) : 0.88g/cm³
- 水溶性(20°C) : 不溶解性
- 絶対粘度(20°C) : 4500 - 6500 mPa·s
- 動粘度(40°C) : >20.5mm²/s
- 滞留時間(23°C) : 30s 3 DIN EN ISO 2431
- 溶媒容量 : <85%

9.2. その他情報

- 利用可能なデータがない。

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

指示通りに保管すれば、分解・変質はしない。

10.2 化学的安定性

通常の状況下においては安定している。

10.3. 危険な反応の可能性

酸化剤に反応する。

10.4. 避けるべき条件

熱分解を避ける。過熱をしない。

急激に温めると、蒸気や空気の混合物が爆発する。

熱する事によって、発火する可能性のある蒸気を放出する。

10.5. 配合禁忌物質

亜硝酸、その他ニトロソ化剤

酸化剤

10.6. 危険有害な分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素

不適切な取り扱い、例えば大量の製品を強い熱とニトロソ化剤で化合させるとニトロソアミンの分裂を引き起こす可能性がある。

11. 有害性情報

11.1. 毒物作用に関する情報

急性毒性

データに基づき、評価基準に適合しない。

毒物データなし。

刺激性と腐食性

強い眼刺激を生ずる。

皮膚腐食性/刺激性：データに基づき、評価基準に適合しない。

感作効果

データに基づき、評価基準に適合しない。

生殖への発癌性/突然変異誘発性/毒性の影響

データに基づき、評価基準に適合しない。

STOT(特定標的臓器毒性) - 単回暴露

嗜眠やめまいを生ずる恐れがある。((酢酸エチル); (炭化水素、C6-C7、n-アルカン、イソアルカン、環状化合物、<3% nヘキサン[ソルベントナフサ(石油)]))

STOT(特定標的臓器毒性) - 反復暴露

皮膚の乾燥又はひび割れを引き起こすおそれがある

誤嚥による有害作用

データに基づき、評価基準に適合しない。

検査による追加情報

CLP 規則(EC) No 1272/2008 に定める環境影響評価に従って、分類される。

実地経験

その他観察

高濃度の蒸気を吸い込む事で含まれる影響：頭痛、めまい、衰弱、意識不明
繰り返し、あるいは長期暴露は、製品の性質が脱脂性の為、皮膚刺激、皮膚炎を生ずるおそれがある。

その他情報

不適切な取り扱い、例えば大量の製品を強い熱とニトロソ化剤で化合させるとニトロソアミンの分裂を引き起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

12.1. 毒性

生態学上のデータは無い。

長期的による影響で、水生生物に有毒。

炭化水素、C6-C7、n-アルカン、イソアルカン、環状化合物、<3% nヘキサン

LC50/EC50/EC50 : 1-10mg/l

酸化亜鉛

EC50/Ceriodaphnia dubia/48h = 0.01 - 0.1mg/l

EC50/Selenastrum capricornutum/72h = 0.01- 0.1mg/l

N-Cyclohexyl-N-ethylamine

EC50/Daphnia magna/48h = 10 - 100mg/l

ErC50/Desmodesmus subspicatus/72h = 10-100mg/l

N-(1,3-Dimethylbutyl)-N'-phenyl-p-phenylenediamine

酢酸エチル

LC50/EC50/EC50 : >100mg/l

12.2. 残留性と分解性

データ無し。

12.3. 生体蓄積性

データ無し。

12.4. 土壌への移動性

データ無し。

12.5. PBT 及び vPvB 評価の結果

REACH 規則(EC) No.1907/2006 によると、本製品には PBT 物質(難分解性で高蓄積性および毒性を有する物質)、vPvB 物質(極めて難分解性、高い生態蓄積性を有する物質)は何も含まれていない。

12.6. その他の有害な影響

有害な水質汚染物質

その他の情報

製品を水域環境や下水道へ流してはいけない。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄処理方法

廃棄処分のアドバイス

再生利用が可能な場所であれば、廃棄より好ましい。
地方条例に従い焼却可能。

残留物や未使用製品の廃棄処理コード

廃棄物コード 0804 コーティング剤(塗料、ワニス、ガラスエナメル)、接着剤、シーラント及び印刷用インクの製造、成形、供給、使用(MFSU)の過程で発生する廃棄物。防水化工品を含む接着剤やシーラントの製品からの廃棄物。有機溶剤を含む接着剤やシーラント、あるいは有害廃棄物として分類されるその他の有害物質。

製品が入っていた容器

本製品が入っていた容器は、その地方の条例に従いリサイクル、回収、廃棄処理等を行う事。
本製品が入っていた容器はできるだけ早く空にし、洗浄処理後に再利用可能である。
容器が洗浄できない場合は、本製品と同様に処分すること。

14. 輸送上の注意

陸上輸送(ADR/RID)

14.1. UN ナンバー	: UN1133
14.2. UN 正式品名	: Adhesives
14.3. 輸送危険物クラス	: 3
14.4. 容器等級	: II
危険物ラベル	: 3



陸上輸送分類: F1

少量危険物の許容質量 : 5L/30kg

微量危険物 : E2

道路輸送区分 : 2

危険物識別番号 : 33

トンネル制限コード : D/E

内陸水路輸送(ADN)

14.1. UN ナンバー	: UN1133
14.2. UN 正式名	: Adhesives
14.3. 輸送危険物クラス	: 3
14.4. 容器等級	: II

危険物ラベル : 3



陸上輸送分類 : F1
少量危険物の許容質量 : 5L/30kg
微量危険物 : E2

海上輸送 (IMDG)

14.1. UN ナンバー : UN1133
14.2. UN 正式品名 : Adhesives (Solvent naphtha (petroleum))
14.3. 輸送危険物クラス : 3
14.4. 容器等級 : II
危険物ラベル : 3



海洋汚染物質 : 該当
少量危険物の許容質量 : 5L/30kg
微量危険物 : E2
EmS (危険物を運送する船舶の非常措置指針) : F-E、S-D

その他該当情報 (海上輸送)

隔離グループ : -

航空輸送 (ICAO-TI/IATA-DGR)

14.1. UN ナンバー : UN1133
14.2. UN 正式品名 : Adhesives
14.3. 輸送危険物クラス : 3
14.4. 容器等級 : II
危険物ラベル : 3



少量危険物量 (旅客機) : 1L
包装基準 : Y341
微量危険物 : E2
IATA-梱包指示書 旅客機 : 353
IATA-最大積載量 旅客機 : 5L
IATA-梱包指示書 貨物機 : 364
IATA-最大積載量 貨物機 : 60L

14.5. 環境有害性

環境有害物質 : 該等



14.6 特別注意事項

産業衛生や安全作業法に従って取り扱うこと。

14.7 マルポール条約やIBCコードの付属書Ⅱに従った大口輸送

輸送は承認されている適性梱包にて行う事。

15. 適用法令

15.1. 安全・健康・環境面に対する規制／含まれている物質または混合物に対する特定の法令

EU 規定情報

使用制限物質 (REACH 規則 付属書XVII)

エントリーNo.28 : 炭化水素、C6-C7、n-アルカン、イソアルカン、環状化合物、
<3% n-ヘキサン[ソルベントナフサ(石油)]

2004/42/EC(VOC) : 80 - 85%

国際規定情報

従業員雇用制限 : 若年層の労働保護ガイドライン(94/33/EC)に従い、若年層の雇用制限を監視。
妊婦や授乳中の母親の為に妊婦保護指令(92/85/EEC)のもと、雇用制限を監視。

水質汚染クラス(D) : 2

15.2. 化学物質安全評価

本製品の内容物は化学物質安全評価を実施されていない。

16. その他情報

略語

ADR	欧州危険物国際道路輸送協定
RID	欧州危険物国際鉄道輸送規則
ADN	危険物の内陸水路による国際輸送に関する欧州協定
IMDG	国際海上危険物規程
IATA/ICAO	国際航空運送協会/国際民間航空機関
MARPOL	マルポール条約
IBC-Code	国際バルクケミカルコード
GHS	化学品の分類および表示に関する世界調和システム
REACH	化学物質の登録(Registration)/評価(Evaluation)/ 認可(Authorisation)/制限(Restriction)に 関わる規則
CAS	ケミカル・アブストラクツ・サービス
EN	欧州規格
ISO	国際標準化機構
DIN	ドイツ工業規格
PBT	難分解、生体蓄積、有害な物質
vPvB	超難分解、超生体蓄積な物質
LD	致死量
LC	致死濃度

EC	有効濃度
IC	半数遊泳阻害濃度/半抑制濃度

H 及び EUH フレーズ関連

H225	引火性の高い液体および蒸気
H226	引火性の液体および蒸気
H302	飲み込むと危険
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H311	皮膚に接触すると有毒
H314	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
H319	強い眼刺激を生じる
H332	吸入すると有害
H336	眠気やめまいのおそれ
H400	嗜眠やめまいのおそれ
H410	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
H411	長期的影響により水生生物に毒性
H412	長期的影響により水生生物に有害
H413	長期的影響により水生生物に有害のおそれ
EUH066	繰返しのばく露が皮膚の乾燥又はひび割れを引き起こすおそれがある

詳細情報

4～8 並びに 10～12 の項目のデータの一部は、使用目的は使用方法についての情報だけでなく、事故や不測の事態の場合の重要な事について記載していますが、危険性や項目に該当しない使用法による瑕疵は、その責を負いかねます。

この情報は本製品を安全に使用する必要条件について述べており、弊社の知りえる範囲を基としています。

納入仕様書は、製品の使用説明書に記載されています。

このデータは、法的規制によって、製品の性質を明確に保証するものではありません。

(n.a. = 該当なし; n.d. = 未検)